

赤岡まちづくりの記録

平成 5年 「土佐絵金歌舞伎伝承会」発足。
絵金の屏風絵に描かれている芝居絵を自ら演じる地元有志の素人集団。絵金祭りの2日間歌舞伎の上演をはじめ。

7年 産品開発グループ「やつゆ会金木屋」発足。
絵金関連グッズを開発する、主婦中心のグループ。やつゆの意味は「やさしく、つよく、ゆめのある」で、高知県知事橋本大二郎夫人の命名。

7年 第1回「冬の夏祭り」開催。
ポリテクの学生の「このまちの人たちと一緒に何かやりたい」の一言で始まった祭り。若者を呼ぼう！とフリーマーケットを開催。

9年1月 「絵金を核としたまちづくり支援事業」開始。
地元で元気に活躍している「土佐絵金歌舞伎伝承会」「やつゆ会金木屋」「冬の夏祭り実行グループ」のメンバーを中心に、役場・商工会・議会が参加し、赤岡のまちづくりについて話し始める。進行役は若竹まちづくり研究所の島中洋行・智子夫妻、ご意見番は梅原真氏。



私が梅原です。

9年4月 「絵金を核としたまちづくり支援事業その2」
前年に引き続き、ワークショップ継続。実際に行動しながら話し合っていく。

9年12月 第3回冬の夏祭り「御用聞きカフェ」開催。
お客さんのアンケート調査実施。第3回で、すでに個性的な祭りに。その後進化を続け、



なんでもありの自由な祭り。路上にコタツ、橋の上でのコンサート、地元のおんちゃん・おばちゃんの手作りの店、作家通りなどなど。

「がってんだー！」
若竹のスタッフです。

10年4月 「考ちゃんの横町クラブ」開催。第1話「赤岡の建物の魅力を語る」廃業していた銭湯 旭湯」を使って、赤岡の古い家の魅力を知るため、県建築課の後藤孝一氏のお話を聞く。

10年5月 「わくわくまちづくり交流会 in夜須」に参加。
高知県内で行われた住民と行政のパートナーシップ型事例の発表、交流会。赤岡の内容は（参加者に強烈な印象を残し・・・想像にお任せします）高い評価を受ける。

平成 10年4月 「赤岡町HOPE計画策定事業」
赤岡町住まい・まちづくり物語

11年3月 「ワークショップを続けたい」との住民の声を受け、建設省事業のHOPE計画をひびかせてきた。委員長に千葉大学の延藤安弘教授を迎える。



まちのバイブル

10年7月 「赤岡探偵団～赤岡の不思議探し～」開催。
赤岡の魅力を再発見するため、赤岡探偵団を結成。メンバーは、路上観察学会の面々。林丈二、赤瀬川源平、藤森輝信、南伸坊各氏、プラス我等が梅原真。各氏を団長に5班に分かれ街中探検。終了後幻灯会。



10年11月 第4回「冬の夏祭り」開催。
初めて延藤さんが「冬夏」へ遊びに来て大興奮！この時から彼の赤岡営業部長の魂に火がついた？



11年4月 「赤岡町HOPE計画推進事業」
赤岡住まい・まちづくり物語第1章
12年3月 前年度に策定したHOPE計画赤岡住まい・まちづくり物語を実践していく。

11年8月 「赤岡住まい・まちづくり幻灯会 inどろめ夏期大学」開催。講師：延藤安弘氏

11年11月 「ゆとり見つけたコンクール」に参加。
赤岡町の作品がグランプリ！

11年11月 「土佐絵金歌舞伎伝承会」フランス公演。
伝承会がジャパンウィークに参加し、フランスリヨン市で歌舞伎を上演。



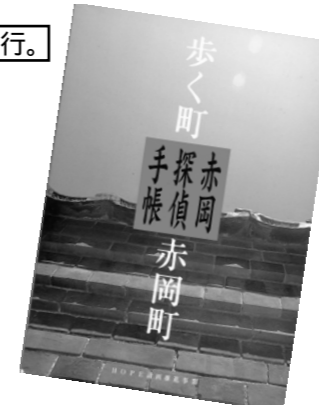
平成 11年12月 第5回「冬の夏祭り・昔は未来」開催。
昔遊びをしてみた！ 延藤さんの営業のおかげ？で、はるばる北海道から遊びに来てくれました！

12年3月 第1回「旭湯お喜楽演芸場」カリンバ演奏会
赤岡に残っている魅力ある建物を活用しようという取り組み。



旭湯です。

12年3月 「赤岡探偵手帳」発行。
赤岡探偵団の記録を残し、広げていくため2千部発行。町内全世帯に配布（2千部で足りるがです）。反響大！



12年4月 「赤岡町HOPE計画推進事業」
赤岡住まい・まちづくり物語第2章
13年3月

12月4月 「まちの宝物ホメ残し隊」結成。
魅力あるまちの建物が、なくなっていくことに危機感を覚えたメンバーが、まちの宝物をほめて、ほめて、ほめちぎって残していこうと・・・。けんど、一番の宝は人であった。

12年5月 「土佐絵金歌舞伎伝承会」サントリー地域文化賞受賞。

12年6月 第2回「旭湯お喜楽演芸場」
影絵芝居ホケキョ一座のインドネシア仕込みの影絵人形芝居に子どもたちも大人も大喜び。



平成 12年8月 「親子赤岡探偵団」開催。
夏休みを利用し、親子で探検。探してきた不思議をもとに「あかおカルタ」を作ろうという計画。



■探偵団の発見、してほみましたへ



12年9月 「立命館大学乾ゼミの赤岡探偵団」開催。
まちづくりの研究をしている立命館大学乾ゼミのメンバー19名が赤岡を訪れ探検。交流会。



旗もってお出迎えます。

12年9月 第3回「旭湯お喜楽演芸場」
赤岡ってええまちやなあ・・・幻燈会
講師：幻燈会と言うたらやっぱり延藤安弘氏



12年9月 「ゆとり見つけたコンクール」に参加2回目。
赤岡組再びグランプリ！

12年11月 「土佐絵金歌舞伎伝承会」地域づくり団体自治大臣賞受賞。

12年12月 第6回「冬の夏祭り・ここにあるあかおがばらんど」開催。
各店にあかおがばらんどをつくってもらう。

